

国際安全保障学会

2021 年度年次大会

Japan Association for International Security

Annual Conference 2021

オンライン大会

2021 年 12 月 4 日～5 日（土・日）

年次大会のご案内

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。2021 年度年次大会のプログラムをお届けします。

2021 年も新型コロナウイルスの感染拡大は収束せず、昨年度に引き続き本年度の年次大会も全面的にオンライン（ZOOM）での実施となります。

特別講演では、内閣官房副長官補兼国家安全保障局次長を務められた兼原信克様を講師にお迎えします。貴重なご経験に基づいたお考えを拝聴できると思います。

プログラム全体も、会員の皆様の多種多様な関心に触れるように準備いたしました。

今回も昨年度と同様、大会専用サイトで参加登録と参加費のお支払いを行っていただきます。報告者の資料のアップロードやダウンロードも大会専用サイトで実行します。昨年度の大会に参加された方は、1年前の手順を思い出していただきながら参加手続きを進めていただければと存じます。昨年度参加されなかった方には、例年と違うのでもしやお手数に感じられるかもしれませんが、何卒ご容赦ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、プログラムは予告なく変更される場合もありますのであらかじめご了承下さい。

2021 年 10 月

国際安全保障学会 大会プログラム委員会

今後の参加登録の手続きにつきまして

昨年度と同様、株式会社 Atlas の Confit というオンライン・プラットフォームを使用します。参加登録は 11 月上旬に開始する予定です。

参加登録が開始されましたら、大会専用サイト <https://jais.confite.atlas.jp/login> (学会ホームページとは別のサイトです) から参加登録システムに入ってください、新規登録するために氏名やメールアドレスなどをご入力いただきます。それが完了するとお手元にメールが届きますので、本文内のリンクをクリックして、参加登録のためのマイページにログインします。そこで、参加区分（会員か非会員か）と、参加費決済（クレジットカードのみ）の入力が完了すると、決済代行会社からは決済完了メールが、Atlas 社からは大会専用サイトにログインする ID とパスワードが記載されたメールが届きます。それを取得して初めて大会専用サイトに入ることができます。専用サイトには、報告者の資料、タイムテーブル、ZOOM 招待 URL などがアップされます。

なお利用に際しては Zoom 社の規約に準じますのであらかじめご了承下さい。

12月4日(土)

◆セッション I

10:00～11:40

部会① 日本の経済安全保障政策

責任者 佐藤丙午(拓殖大学)

報告

米中対立の下での「国家安全保障」の外延の拡大と日本の「経済安全保障」戦略

香山弘文(経済産業省)

経済安全保障とシンクタンク機能

西脇修(政策研究大学院大学)

経済安全保障の視点から見る輸出管理

田中極子(国際基督教大学)

討論

長島純(防衛大学校)

司会兼討論

鈴木一人(東京大学)

部会② 安全保障化の理論と現実—軍事安全保障の観点から

責任者 千々和泰明(防衛研究所)

報告

安全保障化理論の再構成—戦後日本の安全保障政策を事例として

岡本至(文京学院大学)

英国のインド太平洋傾斜と対中認識の変容—大国間競争時代における「安全保障化」の事例として

永田伸吾(金沢大学)

コロンビアの麻薬産業と安全保障化

福海さやか(立命館大学)

討論

小田桐確(関西外国語大学)

司会兼討論

奥山真司(国際地政学研究所)

◆セッション II

13:00～14:40

部会③ 【自衛隊部会】新領域における自衛隊の現状と課題

責任者 磯部晃一(川崎重工業株式会社)

報告

陸上自衛隊における現状と課題(新領域への対応)

小山直伸(陸上幕僚監部)

海上自衛隊における現状と課題(新領域への対応)—ハイブリット海上防衛力の構築に向けて

横田和司(海上幕僚監部)

航空自衛隊における宇宙状況監視(SSA)態勢整備の現状と課題

林育正(航空幕僚監部)

討論

住田和明(NTTコミュニケーションズ)

司会兼討論

梨木信吾(統合幕僚監部)

部会④ 安全保障研究と「イズム（主義）」 責任者 今野茂充（東洋英和女学院大学）

報告

数理・データ分析が安全保障研究にもたらすもの

芝井清久（ROIS-DS／統計数理研究所）

リアリズムと安全保障研究—ネオリアリズム以降の主要論点を中心に

石川卓（防衛大学校）

安全保障研究における「イズム（主義）」の功罪—コンストラクティビズムの視点から

湯澤武（法政大学）

討論

竹内俊隆（京都外国語大学）

司会兼討論

足立研幾（立命館大学）

◆セッションⅢ 総会

15:10～15:30

◆セッションⅣ 特別講演

15:50～17:30

米中関係と日本の経済安全保障

兼原信克（元内閣官房副長官補兼国家安全保障局次長

同志社大学特別客員教授）

パネリスト

神谷万丈（防衛大学校）

村田晃嗣（同志社大学）

岩間陽子（政策研究大学院大学）

細谷雄一（慶應義塾大学）

荒木淳一（川崎重工業株式会社）

司会者兼パネリスト

赤木完爾（国際安全保障学会会長）

12月5日（日）

◆セッションⅤ

10:00～11:40

部会⑤ 台湾海峡情勢の評価と日米台関係の将来像 責任者 門間理良（防衛研究所）

報告

台湾の安全保障をめぐる米国の政策論争とその展望

村野将（ハドソン研究所）

台湾をめぐる国際安全保障環境の変化からみた台湾の対米・対日政策の行方

黄偉修（東京大学）

「台湾有事」と日本の備え—日本が今なすべきこと 徳地秀士(平和・安全保障研究所)
討論 渡部恒雄(笹川平和財団)
司会兼討論 浅野亮(同志社大学)

◆セッションVI 13:00~14:40

部会⑥ 湾岸のトラウマは克服されたのか—日本の外交・安全保障政策再検証
責任者 板山真弓(国土舘大学)

報告
想像力としての「国際貢献」—その担い手・受け手・残像をめぐって 大山貴稔(九州工業大学)
冷戦後日本の安全保障政策の推移 西正典(元防衛事務次官)
「ポスト・コロナ」の米中対立—日本外交における課題 峯村健司(朝日新聞社)
討論 中村登志哉(名古屋大学)
司会兼討論 加藤博章(関西学院大学)

部会⑦ 国内武力紛争と平和構築 責任者 久保田徳仁(防衛大学校)
報告

内戦下の暴力、リスク・時間選好、社会政治参加—パキスタン北西部の事例より 窪田悠一(日本大学)
紛争時における中央政府の正当性の低下とセキュリティ・ガヴァナンスへの影響—ネパール内戦を事例として 佐々木葉月(金沢大学)
社会再統合の中長期的課題—インドネシア・アチェの事例を中心に 田中(坂部)有佳子(青山学院大学)
討論 上杉勇司(早稲田大学)
司会兼討論 土井翔平(北海道大学)

◆セッションVII 15:00~16:40

部会⑧ 非伝統的な安全保障とカーター政権 責任者 倉科一希(広島市立大学)
報告

移民問題は安全保障問題か?—マリエル危機におけるブレジンスキーの言動に注目して 上英明(東京大学)
原子力に見るエネルギー政策と安全保障政策の連関—カーター政権期の取り組みとその限界 武田悠(広島市立大学)

カーター人権外交の理想と現実—対パキスタン政策を中心に

討論

司会兼討論

溝口聡（関西外国語大学）

合六強（二松学舎大学）

小川浩之（東京大学）

分科会① 自由論題

責任者 千々和泰明（防衛研究所）

報告

米国の経済制裁の質的変容—経済相互依存の視点

松本栄子（拓殖大学大学院）

国内危機管理における緊急事態宣言と政策調整メカニズム—米国の COVID-19 対応を事例に

伊藤潤（人と防災未来センター）

07 大綱と 16 大綱における日本の防衛力整備

王瑞（慶應義塾大学大学院）

討論

齊藤孝祐（上智大学）

司会兼討論

神保謙（慶應義塾大学）